

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ゴージャー スープロ エム・エー・エックス
会社名	ゴージャージャパン株式会社
住所	東京都千代田区内神田1-6-6 MIFビル3F
電話番号	03-5280-4807
緊急時の電話番号	03-5280-4807
FAX番号	03-5280-4843
推奨用途	ハンドソープ

2. 危険有害性の要約

GHS分類	GHS分類基準に該当しない。
GHSラベル要素	
ラベル要素	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
その他の危険有害性情報	知見なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号		含有量(w/w%)
		化審法	安衛法	
(C11-15)アルカン/シクロアルカン	64742-47-8	-	別表第9の551	$\geq 10 \cdot < 20$
ラウレス硫酸ナトリウム	68585-34-2	7-155	-	$\geq 5 \cdot < 10$
コカミドプロピルベタイン	61789-40-0	2-1290, 9-2027	-	$\geq 1 \cdot < 5$
酸化チタン(CI 77891)	13463-67-7	1-558	別表第9の191	$> 0.1 \cdot < 1$

4. 応急措置

一般的なアドバイス	事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医者診察を受ける。 症状が長引く場合、または疑問がある場合は、医師の指示を受ける。
吸入した場合	吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所へ移動する。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。
眼に入った場合	多量の水で眼とまぶたをよく洗い流す。 簡単にできる場合には、コンタクトレンズを取り外す。 刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、無理に吐かせない。 口を水ですすぐ。 医療処置を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	知見なし。
応急措置をする者の保護	救急救命士は自己防衛に努め、推奨されている防護服を着用すること。

5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末薬品、二酸化炭素を使用すること。
使ってはならない消火剤	知見なし。
有害燃焼副産物	炭素酸化物、硫黄酸化物、金属酸化物、窒素酸化物(NO _x)、塩素化合物
特有の消火方法	現場の状況や周囲の環境に適した消化手順を用いる。 未開封の容器を冷却するには、水を噴霧する。
その他の情報	汚染した消化廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。 火災の残留物や汚染した消化廃水は関係法規に従って処理する。
消化を行う者の保護	火災の場合は自給式呼吸器を使用し、保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	保護具を使用する。 十分な換気を確保する。 安全な場所に避難する。 漏出物質により滑りやすい状態となる可能性がある。
環境に対する注意事項	環境への放出は必ず避けなければならない。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 広範囲に広まるのを防ぐ(封じ込めまたはオイルバリアなどによる)。 汚染された洗いを保持し、処理する。 流出が著しくて回収できない場合は、地域の行政担当に連絡する。
封じ込め及び浄化方法・機材	漏出物を閉じ込め、不燃性の吸収剤(砂、土、珪藻土、パーミキュライト等)を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる(項目 13 を参照)。 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。 環境に関する規制に従い、汚染された床および物質を完全にきれいにする。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
安全取扱い注意事項	個人保護については項目 8 を参照する。 飲み込まない。 眼との接触を避ける。 使用しない場合には容器を閉めておく。
保管	
安全な保管条件	適切なラベルのついた容器に入れておく。 乾燥した、涼しい換気の良い場所に、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。 各国の規定に従って保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界／許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	64742-47-8	TWA (mist)	5 mg/m ³	OSHA Table Z-1
		TWA	200 mg/m ³ (総炭素水素蒸気として)	ACGIH
		TWA (mist)	5 mg/m ³	NIOSH REL
		STEL (mist)	10 mg/m ³	NIOSH REL
酸化チタン(CI 77891)	13463-67-7	TWA (total dust)	15 mg/m ³	OSHA Table Z-1
		TWA (酸化チタン)	10 mg/m ³	ACGIH

TWA: Time Weighted Average (時間加重平均値), STEL: Short Term Exposure Limit (短時間暴露限界値)

OSHA: Occupational Safety and Health Administration (米国労働安全衛生庁)

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists (米国産業衛生専門家会議)

NIOSH REL: Recommended exposure limit of National Institute for Occupational Safety and Health ((米)国立労働安全衛生研究所).

保護具

呼吸器の保護具	通常、呼吸用保護具は必要ない。
眼の保護具	特別な保護具は必要ない。
皮膚及び身体保護 保護対策	通常と異なる作業においては、フェイスシールド及び保護具を着用する。 特別な保護具は必要ない。
衛生対策	危険物質のタイプ、濃度や量そして特定の作業場を考慮し、適した保護具を選ぶこと。 適切な産業衛生および安全対策のもとに取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理状態	液体 (スクラブ入り)
色	透明～黄褐色
臭い	フローラルな香り
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	4.5 – 8.0 (20 °C)
凝固点	5.5 °C
融点	データなし
沸点・沸点範囲	94 °C
引火点	>100 °C (Pensky-Martensクローズドカップ法)
蒸発速度	データなし
可燃性 (固体、気体)	非該当
可燃性 (液体)	データなし
爆発上限界	データなし
爆発下限界	データなし
蒸気圧	データなし
相対ガス密度	データなし
密度	1.02 g/cm ³
溶解性：水溶性	可溶性
n-オクタノール／水分配係数	非該当
自然発火点	データなし
分解温度	非該当 (この物質または混合物は自己反応性には分類されない。)
動粘性率	12,000 – 40,000 mm ² /s (20 °C)

爆発特性	非爆発性
酸化特性	非該当（この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。）
粒子特性	非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	情報なし。
避けるべき条件	知見なし。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路の情報	吸入。眼に入った場合。皮膚に付着した場合。
---------------	-----------------------

急性毒性 利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

製品	試験方法	結果
急性毒性（経口）	計算法	急性毒性推定：>5,000 mg/kg

成分	種	試験条件	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン			
急性毒性（経口）	ラット	-	LD50: >5,000 mg/kg
急性毒性（吸入）	ラット	曝露時間：4 h 試験環境：ダスト/噴霧 備考：同類の材料のデータに基づく	LC50: >5.3mg/L アセスメント：この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
急性毒性（経皮）	ウサギ	-	LD50: >3,160 mg/kg アセスメント：この物質または混合物は急性の経皮毒性は無い。
ラウレス硫酸ナトリウム			
急性毒性（経口）	ラット	-	LD50: >2,000 mg/kg アセスメント：この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。
コカミドプロピルベタイン			
急性毒性（経口）	-	方法：OECDガイドライン401 備考：同類の材料によるデータに基づく	LD50: >5,000 mg/kg
急性毒性（経皮）	ラット	方法：OECDガイドライン402 備考：同類の材料によるデータに基づく	LD50: >2,000 mg/kg アセスメント：この物質または混合物は急性の経皮毒性は無い。
酸化チタン(CI 77891)			
急性毒性（経口）	ラット	-	LD50: >5,000 mg/kg
急性毒性（吸入）	ラット	曝露時間：4 h 試験環境：ダスト/噴霧	LC50: >6.82 mg/L アセスメント：この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

LD50: Lethal Dose 50(半数致死量)、LC50: Lethal Concentration 50 (半数致死濃度)

皮膚腐食性・刺激性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

製品	結果：皮膚刺激なし アセスメント：ヒトの皮膚に塗布した時、皮膚刺激は無い。
----	--

成分	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	アセスメント：繰り返し曝露することで皮膚の乾燥やひび割れの原因となり得る。
ラウレス硫酸ナトリウム	皮膚刺激性
ココミドプロピルベタイン	皮膚刺激性
酸化チタン(CI 77891)	皮膚刺激なし (試験種：ウサギ)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

成分	種	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	ウサギ	眼刺激なし
ラウレス硫酸ナトリウム	-	眼への刺激 備考：重度の眼刺激
ココミドプロピルベタイン	-	眼への刺激 備考：重度の眼刺激
酸化チタン(CI 77891)	ウサギ	眼刺激なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

成分	種	試験タイプ	曝露の主経路	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	モルモット	最大化試験 (GPMT) 備考：同類の材料によるデータに基づく	皮膚に付着した場合	陰性
ココミドプロピルベタイン	モルモット	最大化試験 (GPMT) 備考：同類の材料によるデータに基づく	皮膚に付着した場合	陰性
酸化チタン(CI 77891)	マウス	局所リンパ節アッセイ (LLNA)	皮膚に付着した場合	陰性

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

成分	試験方法	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン		
in vitroでの遺伝毒性	試験タイプ：微生物復帰突然変異試験 (AMES)	陰性
in vivoでの遺伝毒性	試験タイプ：染色体異常 種：ラット 投与経路：腹腔内注射 備考：同類の材料によるデータに基づく	陰性
ココミドプロピルベタイン		
in vitroでの遺伝毒性	試験タイプ：微生物復帰突然変異試験 (AMES) 方法：OECD 試験ガイドライン 471 備考：同類の材料によるデータに基づく	陰性
in vivoでの遺伝毒性	試験タイプ：哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo細胞毒性試験) 種：マウス 投与経路：飲み込んだ場合 備考：同類の材料によるデータに基づく	陰性
酸化チタン(CI 77891)		
in vitroでの遺伝毒性	試験タイプ：微生物復帰突然変異試験 (AMES)	陰性

in vivoでの遺伝毒性	試験タイプ：in vivo小核試験 種：マウス	陰性
---------------	----------------------------	----

発がん性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

製品	
関連機関	アセスメント
IARC	酸化チタン(CI 77891) / CAS No. 13463-67-7: グループ2B: ヒトに対する発がん性物質である可能性がある
OSHA	OSHAにより、発がん物質として、又はその可能性があるとして確認された成分は、この製品に0.1%以上含有していない。
NTP	NTPにより、発がん物質として知られている、又はそう予測されるとして確認された成分は、この製品に0.1%以上含有していない。

IARC: International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)

NTP: National Toxicology Program (米国国家毒性プログラム)

成分	種	試験方法	投与経路	結果
酸化チタン(CI 77891)	ラット	OECDガイド ライン453	吸入 (ダスト/噴 霧/蒸気)	陽性 備考：作用機序を鑑みると人体に影響しない可能性がある。 この物質は製剤中で強く結合しており、ダスト吸入の危険性には寄与しない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

成分	種	試験タイプ	投与経路	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン				
妊婦に対する影響	ラット	一世代生殖毒性試験 備考：同類の材料のデータに基づく	飲み込んだ場合	陰性
胎児への影響	ラット	受精卵および胎児発育	飲み込んだ場合	陰性
コカミドプロピルベタイン				
胎児の発育への影響	ラット	受精卵および胎児発育 方法：OECDガイドライン414 備考：同類の材料によるデータに基づく	飲み込んだ場合	陰性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

反復投与毒性

成分	種	試験方法	曝露時間	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	ラット	投与経路：吸入(蒸気)	90d	NOAEL: >10.4 mg/L 備考：同類の材料のデータに基づく
コカミドプロピルベタイン	ラット	OECDガイドライン408 投与経路：飲み込んだ場合 備考：同類の材料によるデータに基づく	90 d	NOAEL: 250 mg/kg
酸化チタン(CI 77891)	ラット	投与経路：飲み込んだ場合	-	NOAEL: 24,000 mg/kg
	ラット	投与経路：吸入(ダスト/噴霧/蒸気)	2 y	NOAEL: 10 mg/m ³ 備考：この物質は製剤中で強く結合しており、ダスト吸入の危険性には寄与しない。

NOAEL: No Observed Adverse Effect Level (無毒性量)

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り区分に該当しない。

成分	アセスメント
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	この物質または混合物はヒトに対し吸引毒性の危険性があることが知られている、あるいはそう見なすべきである。

12. 環境影響情報

生態毒性

成分	試験種、試験方法等	曝露時間	結果
(C11-15)アルカン／シクロアルカン			
魚毒性	Danio rerio (zebra fish) (ゼブラフィッシュ) 被験物質：水性画分 OECDガイドライン 203	96 h	LL50: >250 mg/L
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	Acartia tonsa (アカルチア) 被験物質：水性画分	48 h	EL50: >3,193 mg/L
藻類に対する毒性	Skeletonema costatum (marine diatom) (海洋珪藻) 被験物質：水性画分	72 h	EL50: >3,200 mg/L NOELR: 993 mg/L
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性（慢性毒性）	Ceriodaphnia Dubia (water flea) (ミジンコ) 被験物質：水性画分	8 d	NOELR: > 70 mg/L
細菌に対する毒性	-	3 h	EC50: >100 mg/L

コカミドプロピルベタイン			
魚毒性	ISO（国際標準化機構） 7346/2 備考：同類の材料によるデータに基づく	96 h	LC50: > 1・10 mg/L
細菌に対する毒性	OECDガイドライン209 備考：同類の材料によるデータに基づく	-	EC50: >100 mg/L
酸化チタン(CI 77891)			
魚毒性	Oncorhynchus mykiss (rainbow trout) (ニジマス) OECDガイドライン 203	96 h	LC50: >100 mg/L
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	Daphnia magna (water flea)	48 h	EC50: >100 mg/L
藻類に対する毒性	Skeletonema costatum (marine diatom) (海洋珪藻)	72 h	EC50: >10,000 mg/L
細菌に対する毒性	OECDガイドライン 209	3 h	EC50: >1,000 mg/L

LC50: Median Lethal Concentration (半数致死濃度)

EC50: Median Effect Concentration (半数阻害濃度)

LL50: Median Lethal Loading Rate (半数致死負荷率)

EL50: Median Effective Loading Rate (半数成長阻害負荷率)

NOELR: No Observable Effect Loading Rate (最大無影響負荷率)

残留性・分解性

成分	試験方法	生分解	曝露時間	生分解性
(C11-15)アルカン／シクロアルカン	OECDガイドライン 301F	82%	24 d	易分解性
ラウレス硫酸ナトリウム	-	-	-	易分解性
コカミドプロピルベタイン	OECEガイドライン 301 備考：同類の材料によるデータに基づく	>60 %	28 d	易分解性

生体蓄積性 データなし

土壌中の移動性 データなし

オゾン層への有害性

製品	
規制	規制への該当性
40 連邦行政規則（CFR）；Part 82 成層圏オゾン保護・大気汚染防止法（CAA）Section 602 のクラス I 物質に関する規制	本製品は、米国の大気汚染防止法(CAA) Section 602 (40 CFR 82, Subpt. A, App.A + B) により規定されたクラスI 又はクラスIIのオゾン層破壊物質（ODS）を含有せず、製造時もそれらを使用していない。

他の有害影響 データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物

廃棄においては、地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA-DGR（国際航空運送協会・危険物規則書）：危険物として規制されていない。

IMDG Code（国際海上危険物規則）：危険物として規制されていない。

国内規制：危険物として規制されていない。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物質

酸化チタン、(C11-15)アルカン／シクロアルカン

表示対象物質

(C11-15)アルカン／シクロアルカン

有機溶剤中毒予防規則

(C11-15)アルカン／シクロアルカン（第3種有機溶剤）

毒物及び劇物取締法

該当せず

化学物質審査規制法

優先評価化学物質（生態影響）

ラウレス硫酸ナトリウム、ココミドプロピルベタイン

化学物質排出把握管理促進法

該当せず

消防法

該当せず

船舶安全法・危規則

危険物として規制されていない

航空法・施行規則

危険物として規制されていない

火薬類取締法

該当せず

高圧ガス保安法

該当せず

海洋汚染防止法

海洋環境の保全の検知から有害物質ではない。

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。